

アセットライ

AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED
作成日：2016年3月31日

2016年2月運用報告書(2016年2月1日～2016年2月29日)

純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：5.91%】

	設定時 (1999/2/1)	2015年10月末	2015年11月末	2015年12月末	2016年1月末	2016年2月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	1,725,803	1,782,192	1,803,307	1,922,758	2,010,526
月次騰落率	—	1.28%	3.27%	1.18%	6.62%	4.56%
設定来騰落率	—	72.58%	78.22%	80.33%	92.28%	101.05%

各セクターごとの損益

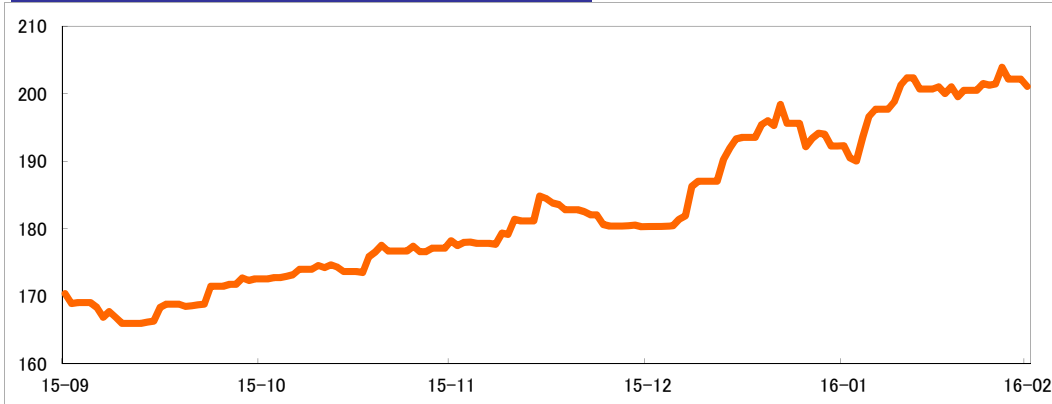
2016年2月の運用成績はプラスとなり、アセットライは前月比4.56%の利益となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
++	++	++	++	-	-	+

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

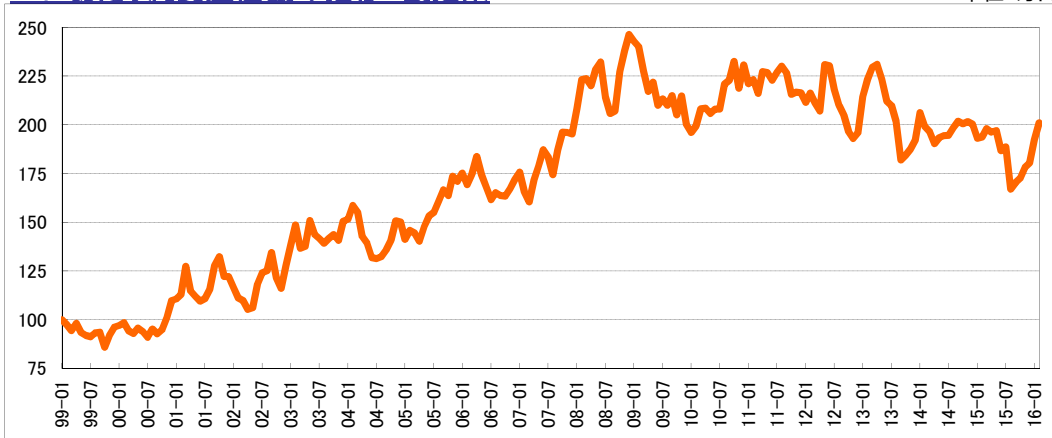
一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位：万円



一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位：万円



マーケット概要

為替相場は、米ドルが対円では121円台半ばから円高が進行し、一時は110.98円をつけるなど、主要通貨に対して円は全面高となりました。日銀による予想外のマイナス金利の導入で海外投資家による日本国債の購入が活発化し、円買い需要が高まりました。一方、ユーロは3月の追加緩和が見込まれる中でドルでの上昇にも限界が見られ、1.08ドル台で越月しました。

主要国の短期金利は、1月末に日銀のマイナス金利導入を受け円がマイナス金利となり、ユーロでも追加緩和見通しからマイナス幅を拡大、ドルは横ばいとなりました。長期金利は、日銀、ECBの緩和政策やFRBの利上げ観測後退、株式市場の下落、世界経済の不透明感から債券市場へ資金が流入し、全般に利回りが低下。国内では10年債利回りがマイナス圏へ低下しました。

主要国の株価指数は、前半は企業の四半期決算発表を迎え、欧州を中心とした金融機関や、原油価格下落からのエネルギー・資源関連企業の業績悪化で先進国市場を中心に下落しました。米国の利上げ観測後退やECBの追加緩和観測から次第に反発しましたが、日本株は1月末の日銀追加緩和からの反動もあって急速な円高が圧迫となり、水準を大きく切り下げました。

原油相場は、ブレントがOPEC加盟国の当初の36ドルから、株安やOPECの減産期待後退で30ドル水準へ下落しました。16日にロシアとサウジアラビアなど産油国4カ国が生産量の凍結で合意すると反発しましたが、1月の原油生産量がすでに高水準であり減産には否定的であることから需給の緩和傾向は変わらないとして上昇は続かず、36ドル水準で越月しました。

金相場は、当初の1,117ドルから上昇傾向となり、上旬高値の1,260ドルを経て1,237ドルで越月しました。米国金融政策は引き締めへと方針を転換したものの、1月のFOMCで景況見通しが下方修正され、2016年の引き締めペースが当初見通しより後退し、日銀のマイナス金利に導入による不透明感から株価が下落、金に対する関心が高まりました。

トウモロコシ相場は、当初の370セントから下落傾向となりました。米国産トウモロコシの輸出が低調となったほか、南米ではブラジル、アルゼンチンともに生産高が上方修正されたことが圧迫。原油価格の反発に追随高となる場面もありましたが、月末に米農務省が今年の米国トウモロコシの増産と期末在庫の増加見通しを示すと一段安となり、353.50セントで越月しました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 コールセンター

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。

「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.16%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：東京都中央区新川2-12-16

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会